

市町村名	多良間村
------	------

平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-①	美化緑化推進事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ
担当部課名	観光振興課	事業実施(予定)年度	平成25~33年度	観光客の受入体制の整備
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)

事業内容	快適な観光地を形成するため、観光関連施設や周辺道路等の美化・緑化を行う。			
------	--------------------------------------	--	--	--

実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()			
------	---	--	--	--

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	5,000	5,968	7,068	6,742
		(b) 予算現額	5,000	4,722	4,727	4,308
		(c) 増減額 (b-a)	0	▲ 1,246	▲ 2,341	▲ 2,434
		(d) 繰越額	0	0	0	0
		A. 計 (b+d)	5,000	4,722	4,727	4,308
		B. 執行済額	3,921	4,722	4,727	4,308
		うち交付金充当額	3,136	3,777	3,781	3,446
		次年度繰越額	0	0	0	0
		執行率 (%) (B/A)	78.4%	100.0%	100.0%	100.0%
		予算の状況の説明	当初、4名の作業員により事業を実施する予定であったが、欠員により配置できない期間が生じたため、これに係る賃金等を2,434千円減額した。			

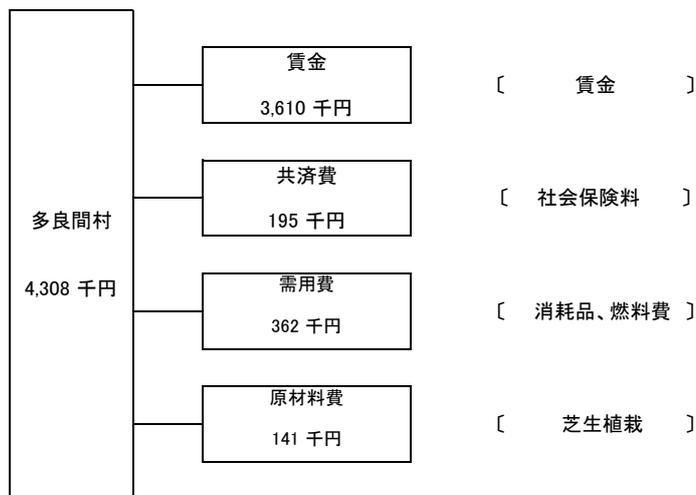
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)	達成状況				
			28年度	29年度	30年度	31年度
		年間をとおして美しい環境で利用できるようにする。	目標 (美化・緑化の実施) 実績 美化・緑化の実施			
	目標 () 実績					
達成状況説明	村内観光関連施設を、年間概ね4回の美化・緑化作業の実施を目指した。4名の作業員での実施を目指したが、年間を通して確保することができた作業員は2名であり、残りの2名については短期間の契約にとどまってしまうこととなったが、年間を通して美化・緑化に取り組んだ。					

成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)	基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(年度)
		観光関連施設及びアクセス道路の美化・緑化の実施。農村公園、ふるさと海浜公園、八重山遠見台、ミヅ公園等9カ所	目標 ()	(9カ所)	()	()
		実績	9カ所			
	【参考指標】	目標 ()	()	()	()	()
進捗状況説明	観光関連施設及びアクセス道路の美化・緑化の対象として9カ所を選定しており、年3回各地の美化・緑化を実施した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	離島であるため年間を通した人員の確保が困難であり、人員不足が課題として生じている現状がある。	必要人員の確保に向け、労働条件の改善に努めると共に募集内容の周知を図る必要がある。
今後の取り組み方針		
<p>作業実施の間隔を短くすることで、より良好な美化・緑化環境の維持に努めるためには、年間を通して4名分の人員確保が必要であると見込まれるので、募集内容について、村内の掲示板等において周知を図り、人員確保に努めていく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
4,308	4,308	3,446	862	0



資金の流 れ、費目 ・ 点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	村の規定に沿って選定・執行されており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	清掃作業に必要な人件費や需用費等であり適正な予算規模と考えられる。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	受益者との負担関係は発生しない。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	費目・用途については、実績報告時において支出等に関する書類により確認しており適正であった。

市町村名	多良間村						
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	多良間村観光振興基本計画策定事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部署名	観光振興課	事業実施(予定)年度	平成27~28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客受入体制の整備 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	観光産業を振興するため、その柱となる観光振興基本計画を策定する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 繰越額 A. 計 (b+d)		7,000	7,560			
			4,500	9,772			
			▲ 2,500	2,212			
			0	0			
			4,500	9,772			
	B. 執行済額		3,544	9,741			
	うち交付金充当額		2,835	7,792			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率 (%) (B/A)		78.8%	99.7%			
予算の状況の説明		当初、審議会の運営やアンケート調査等で進めてきたが、住民啓発講演会や水納島視察調査等の追加業務が必要となり、2,212千円を変更追加し基本計画策定に必要な業務の委託を行った。不用額は委託費の入札残。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			28年度	29年度	30年度	31年度	
	多良間村観光振興基本計画の検討	目標	(検討)	()	()	()	
		実績	検討				
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	観光振興基本計画を策定するために必要となる基礎情報の収集、住民啓発講演会、ワークショップ、策定委員会、審議委員会などを開催し、検討を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(年度)
	多良間村観光基本計画の策定完了(平成29年度~平成38年度の10年間計画)	目標	()	(策定完了)	()	()	()
		実績		策定完了			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	観光振興基本計画を策定するために必要となる基礎情報の収集、住民啓発講演会、ワークショップ、策定委員会、審議委員会などを開催し、観光振興に向けた基本方針等が定まり、平成29年3月に「多良間村観光振興基本計画」を策定することができた。						

市町村名	多良間村
------	------

平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-③	観光関連施設整備事業(食事・土産品施設)	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ			
担当部署	観光振興課	事業実施(予定)年度	平成27~29年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客受入体制の整備		
事業内容	地域資源を活かした観光産業の振興を図るため、観光客等への食事・お土産品の提供の場を整備し快適な環境づくりによる観光地形成を推進するために、基本設計、実施設計を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		4,752	4,360			
			3,132	17,397			
			▲1,620	13,037			
			0	0			
			3,132	17,397			
	B. 執行済額		3,132	16,848			
	うち交付金充当額		2,505	13,478			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		100.0%	96.8%			
予算の状況の説明		当初、基本設計・実施設計の委託費を15,200千円で見積もったが、委託費積算結果2,197千円を変更追加し基本設計・実施設計業務の委託を行った。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)	達成状況					
			28年度	29年度	30年度	31年度	
	基本設計・実施設計の作成	目標	(作成)	()	()	()	
		実績	作成				
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	多良間村地域振興拠点施設整備(食堂・土産品施設)にむけ、基本設計・実施設計の作成を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)	基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(年度)	
	基本設計・実施設計の作成完了	目標	()	(完了)	()	()	()
		実績		完了			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	本年度は、施設整備に向け基本設計・実施設計の作成を完了。						

市町村名	多良間村
------	------

平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-①	イネヨトウかく乱法防除事業(フェロモンチューブ)	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(4)-ウ			
担当部課名	産業経済課	事業実施(予定)年度	平成25~29年	沖縄振興基本方針該当箇所			
事業内容	さとうきびの生産安定と品質向上を図るため、フェロモンチューブを設置し、雌を探す雄の行動を阻害し、交尾率を低下させることにより、イネヨトウの次世代密度低下を図る。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	(a) 当初予算額	20,000	20,000	20,000	19,999		
	(b) 予算現額	20,000	20,000	19,935	19,999		
	(c) 増減額(b-a)	0	0	▲65	0		
	(d) 繰越額	-					
	A. 計(b+d)	20,000	20,000	19,935	19,999		
	B. 執行済額	19,994	20,000	19,935	19,872		
	うち交付金充当額	15,995	16,000	15,948	15,897		
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	99.4%		
予算の状況の説明	予算内で事業を執行						
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)	達成状況					
		25年度	26年度	27年度	28年度		
	さとうきびのイネヨトウ被害を防ぐためフェロモンチューブ設置による防除を行う。	目標	フェロモンチューブ設置による防除	フェロモンチューブ設置による防除	フェロモンチューブ設置による防除	フェロモンチューブ設置による防除	
		実績	フェロモンチューブ設置による防除	フェロモンチューブ設置による防除	フェロモンチューブ設置による防除	フェロモンチューブ設置による防除	
	フェロモンチューブ設置対象面積A=416ha	目標	()	()	(381ha)	(416ha)	
		実績			416ha	416ha	
達成状況説明	平成24年度に沖縄県がイネヨトウ交信かく乱法による一斉防除普及技術普及事業を実施した経緯があり、平成28年度においても416haを対象に事業を実施した。島全域による交信かく乱法防除効果で、年々イネヨトウの数は減るなど、一定の効果は見受けられる。しかしながら未だに、さとうきび被害は多い状況にあり、さとうきび増産及び品質向上をめざすため、イネヨトウの密度低下を更に進める必要がある。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)	基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)	
	さとうきびの生産安定と品質向上により、農家所得の向上が図れる。	目標	()	生産安定と品質向上	生産安定と品質向上	生産安定と品質向上	()
		実績		生産安定と品質向上	生産安定と品質向上	生産安定と品質向上	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	平成24年~平成28年度において、イネヨトウ交信かく乱法による防除を目的に実施し、島内全域で事業に取り組んだことによりさとうきび被害は軽減され、今期のさとうきびは2万5千トンの生産量となり前期よりも増産となるなど、生産の安定に寄与した。29年度もイネヨトウ交信かく乱法による防除事業を実施しさとうきびの生産安定に繋げる。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	イネヨトウ交信かく乱法による防除を行うことでさとうきびの生産安定と品質向上を図ることを目的としている。 フェロモンチューブ設置はさとうきび畑、草地等、作物の違いによつての設置方法が異なるため、関係機関・村民の協力のもと、検討を行い効果的に設置する必要があるが、生産組合としての取り組みが効率的に機能していない現状がある。	フェロモンチューブ設置後、耕作機械による損壊を防ぐため農家への注意喚起を徹底する事により、効果の発現を図る。 また、実施体制の見直しにより、事業の運営効率化を図る必要がある。
今後の取り組み方針		
<p>交信かく乱法は環境にも優しく従来の慣行防除とは作業内容も大きく異なる防除技術であり、環境にも優しく、非常に効果的であることから、設置後、さとうきびへの被害軽減が図られている。こうした状況を踏まえ事業を継続するとともに、今後とも、関係機関、村民と協力し設置方法を検討し、更なる効果が得られるよう取り組むべく、平成29年度からは村が直接農家と協同して実施していく。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	19,872	19,872	15,897	3,975	0
<pre> graph LR A[多良間村 19,872千円] -- 委託料 19,872千円 --> B[さとうきび生産組合 19,872千円] </pre> <p style="text-align: right;">[イネヨトウ交信かく乱法防除業務]</p>					
資金の 使途の 流れ、 費目 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明		
○	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託先の事業者は、村内さとうきび生産農家と連携しており、事業実施についても妥当であると考えている。		
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・予算額も事業内容に見合った執行となっており、適正な予算規模と考える。		
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。			
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・費目、使途については生産段階で検査を実施しており適正である。		

市町村名 多良間村

平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-② 多良間新製糖工場整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(4)-ウ-(イ)
担当部署名	多良間村役場産業経済課	事業実施(予定)年度	H27~H29
		沖縄振興基本方針該当箇所	農林水産業の振興 Ⅲ-9

事業内容 本村の基幹産業であるさとうきび・糖業の安定した生産体制を確立し、製糖事業者の製糖コストの軽減、製品の品質向上及び安心・安全な製品の確保を図るため、含みつ糖製糖施設を整備する。

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		27年度	27年度(繰越)	28年度	29年度	30年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a) 当初予算額	12,204	0	55,000		
	(b) 予算現額	65,756	0	71,766		
	(c) 増減額(b-a)	53,552	0	16,766		
	(d) 繰越額	-	42,051	0		
	A. 計(b+d)	65,756	42,051	71,766		
	B. 執行済額	23,705	36,059	70,794		
	うち交付金充当額			56,635		
	次年度繰越額	42,051				
	執行率(%) (B/A)	36.0%	85.8%	98.6%		
	予算の状況の説明	当初、市販製品の擁壁を検討していたが、設計を行い現場状況等を検討した結果、擁壁の種類及び規格の変更が生じ、当初交付枠では当初目的の数量を実施できないため増額を行った。				

活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)	達成状況				
			28年度	29年度	30年度	31年度
		含みつ糖製糖施設外構工事整備	目標	含みつ糖製糖(施設外構工事)整備	()	()
	実績	含みつ糖製糖施設外構工事整備の実施				
	目標	()	()	()	()	()
	実績					
達成状況説明	平成27年度に製糖施設用地測量設計、不発弾等事前探査、造成工事、地質調査等を実施し、今年度は外構工事設計、盛土造成個所の外構工事(擁壁工)を実施した。					

成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)	基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(年度)
		外構工事調査測量設計業務、外構工事を実施	()	外構工事設計、外構工事を実施する。	()	()
		実績		外構工事設計、外構工事の実施		
	【参考指標】	目標	()	()	()	()
		実績				
進捗状況説明	平成27年度に造成工事、委託業務等を実施し、関係工事(建屋工事、機械器具設置工事)が施工可能な状態にした。その後、平成28年度にて関係工事との調整を行いながら外構工事設計及び外構工事(擁壁設置工)を実施した。共用開始に向け、関係工事との調整を行いながら外構工事を実施していく。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 既存の含みつ糖製糖施設建設から40年経過しており、老朽化による機能低下が懸念されるため、沖縄県含みつ糖製糖施設近代化事業にて建屋工事、機械器具設置工事の整備を行っている。これまで当事業に関連委託業務や造成工事、外構工事を実施してきた。 設計委託業務にて、現場条件を調査した結果、使用部材に変更があり、当初予算よりも大幅に増額の必要があった。 新敷地の一部は既存工場にも該当しているため、既存工場の解体が必要になるが、関係工事が遅れた場合解体が行えなくなり、当事業にも支障をきたす。また、実施設計は完成しているが、関係工事との調整によっては設計変更の可能性がでてくる。 現在のところ、おおむね当初予定どおりに進行している。 	<ul style="list-style-type: none"> 予算増、減については、早めに把握するよう行う。 関連工事(建屋、機械設置工)との調整を密に行う必要がある。また、設計変更、数量変更等の可能性もあるので専門的知識が必要になる。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> 工区分けや設計積算をあらかじめ作成し、なるべく早期に予算増減が把握できるようにする。 月に一回、工事関係者による全体工程会議を行っているが今後も継続的に行い、必要があればその都度全体工程会議を開催し協議する。監督員や設計積算資料作成の補助する委託等を発注し、設計変更や数量変更等を生じた場合対応する。 		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	70,794	70,794	56,635	14,159	0
資金の用途の点検・費目・評価	評価	点検項目		評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○請負、委託事業者等は指名競争入札で選定しており、妥当だと考えている。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		○当初予算額は不足であったが、増額を行い不用額は5%以内なので適正な規模だと考えている。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。			
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○費目・使途については検査も行っているの妥当である。	

市町村名	多良間村
------	------

平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

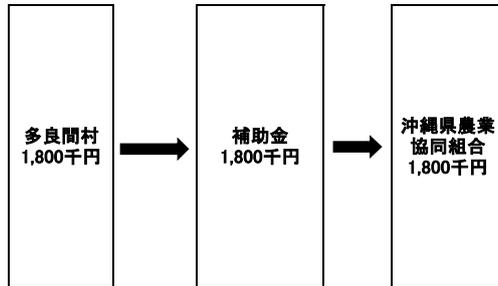
事業番号・事業名	2-③	優良繁殖雌牛導入支援事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア			
担当部署	産業経済課	事業実施(予定)年度	平成27~31年度	沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産体制の整備		
事業内容	生産農家の経営の安定化及び良質な肉用牛の改良推進を図る為、優良繁殖雌牛導入を支援する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		4,500	4,500			
			4,500	4,500			
			0	0			
			-	-			
			4,500	4,500			
	B. 執行済額		600	1,800			
	うち交付金充当額		480	1,440			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		13.3%	40.0%			
予算の状況の説明		今年度の導入は、15頭の枠に20人の希望者が集まったが、子牛価格の高騰が続いており6頭の導入しかできず27,000千円の不用を出した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)	達成状況					
		27年度	28年度	29年度	30年度		
	優良繁殖雌牛の導入頭数:15頭	目標	(15頭)	(15頭)	()	()	
		実績	2頭	6頭			
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	年間計画は15頭の導入予定だったが、県内外の子牛セリ価格の高騰により、導入頭数は6頭にとどまった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)	基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)	
	H27~H31年の5年間で75頭 H28優良繁殖雌牛導入率:20% $75 \times 0.2 = 15$ 頭	目標	()	(20%)	(20%)	()	()
		実績		2.6%	8%		
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	今年度は事業の早期取組を始めたが、事業実施主体と系統及び導入価格などの調整に時間を要し、導入する頭数が6頭にとどまったことから実績は8%の導入率となった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>本村の畜産における現状は、担い手不足による飼養管理者の高齢化が進み経営の規模縮小及び経営農家の減少が大きな課題となっている。 本事業での優良雌牛の導入にあたり説明会を早期に実施したが、その後購買実施主体との導入申請において系統及び価格での調整に時間を要した点が課題となっている。</p>	<p>事業説明会を開催する際に導入計画案を提示し、農家の選定及び導入系統の希望聞き取りを事前に実施することで早急な事業開始につなげることができると考えられる。 また、導入市場の現状平均価格及び上場頭数、系統を早急に情報を取り入れる事により導入率を上げるべく努める必要がある。</p>

今後の取組方針
<p>事業で導入する頭数を月ごとで確認し、頭数の調整に早急に取組む事で各年度の目標を達成出来るようにする。 各セリ市場で上場される頭数及び系統を事前に調べ、農家の希望を踏まえつつ、より多くの優良種を導入出来る市場での購買をすることによって早期の導入頭数達成を図る。</p>

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
1,800	1,800	1,440	360	0



優良繁殖雌牛の導入:15頭
 30万円を上限とし、1/2以内を支出
 例:30万→15万補助金(農家負担→15万)
 70万→30万補助金(農家負担→40万)

資金の 使途の 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○農業協同組合は県内外での導入実績があり、妥当だと判断 ○セリ価格の高騰等により導入希望者が当初見込みより減となるなど不用が生じたものの、当初予算の規模としては、事前の農家への意向の聞き取りや更新目標数などを踏まえ計画した事業内容に相応する規模であり適正であった ○受益者負担を1/2以上としており、他の事業事例と比較しても妥当と判断している ○費目・使途については、補助金支出時に検査を実施しており事業目的に必要な支出と判断</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
○			

市町村名	多良間村
------	------

平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-①	児童生徒島外教育諸活動助成事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)イ			
担当部課名	多良間村教育委員会 教育課	事業実施(予定)年度 平成27年~33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 Ⅲ-3-(1)			
事業内容	児童生徒の意識の高揚、スポーツの技術力向上等、未来を拓く子ども達の能力向上を図る。島外で実施される各種大会へ児童生徒を派遣する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	5,350	5,164			
		(b)予算現額	4,592	3,948			
		(c)増減額(b-a)	▲758	▲1,216			
		(d)繰越額	0	0			
		A.計(b+d)	4,592	3,948			
		B.執行済額	3,543	2,552			
		うち交付金充当額	2,834	2,041			
		次年度繰越額	0	0			
		執行率(%) (B/A)	77.2%	64.6%			
予算の状況の説明	当初予算は、5164千円を予定していたが、12月補正で予算1216千円を減額した。不用額に関しては、交付対象外と判断した経費について減額したものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			28年度	29年度	30年度	31年度	
	各種大会への児童生徒派遣	目標	派遣実施				
		実績	派遣実施				
		目標					
実績							
達成状況説明	児童生徒を各種大会へ派遣するため、交通費や宿泊費等の助成を実施した。実績として地区大会への派遣回数32回・派遣延人数336人の派遣ができ、子ども達の能力、才能を発揮する機会を提供できた。今年度は県大会へ派遣する機会がなかったが、台風や飛行機の機材不良等による欠航がなく、地区大会へ予定通りの派遣ができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(年度)
	児童生徒の派遣による交流推進と意識高揚を図る	目標	()	交流推進と意識高揚			()
		実績		交流推進と意識高揚			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	小中学校児童生徒の島外教育諸活動費助成事業により、保護者負担が減り児童生徒の派遣が実施できたことにより交流推進と意識高揚につながった。						

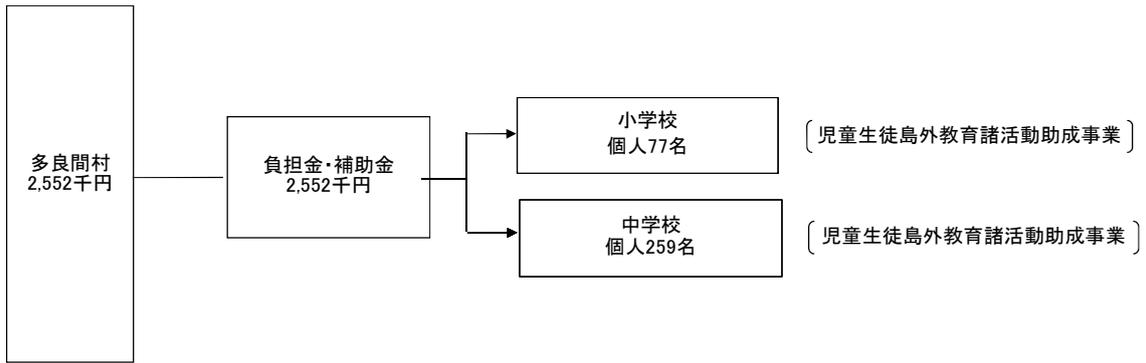
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>島外で実施されるスポーツ大会、文化大会などに参加することは、離島の小規模学校では得られない体験がある。 他地域との交流で意識の高揚とスポーツの技術力の向上等が図れる。 島外での大会が主なため、児童生徒の教育諸活動を推進していく上で、派遣があるたびに保護者の負担が大きい。そのため、今後も地区大会、県大会、県外へ派遣する児童生徒への支援が必要な環境にある。</p>	<p>島外での大会が主なため、児童生徒の派遣があるたび保護者の経費負担が大きい。派遣事業を推進する上で保護者の負担軽減に大きく寄与できている。 一連の事務作業を進めていくために、学校との連携をしながら速やかな事務処理ができるように努める必要がある。</p>

今後の取り組み方針

多良間村の教育環境は、他地域との教育環境に格差がある状況の中、1村1校の環境で育った児童生徒が、島外で開催される各種大会へ参加することは、児童生徒の能力開花に欠かせない意識高揚の機会であるとともに、そうした機会の確保に必要な保護者の負担軽減にもつながっている。今後支援を実施していく。
情報交換を欠かさないようにすることで、学校とのスムーズな連携を図りながら、速やかな事務処理ができるように努めていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
2,552	2,552	2,041	511	0



資金の流れ、費目、使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・小体連、中体連の派遣事業等に限定しているため、支出先の選定方法は妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・当初計画に計上していた一部経費について、対象外として整理し直したことにより不用が生じたものの、予算額としては、計画した事業内容に見合った規模であり、適正であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	・受益者負担として、補助金上限額を超える分は負担してもらっている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・費目・使途については、精算段階で、検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名	多良間村
------	------

平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

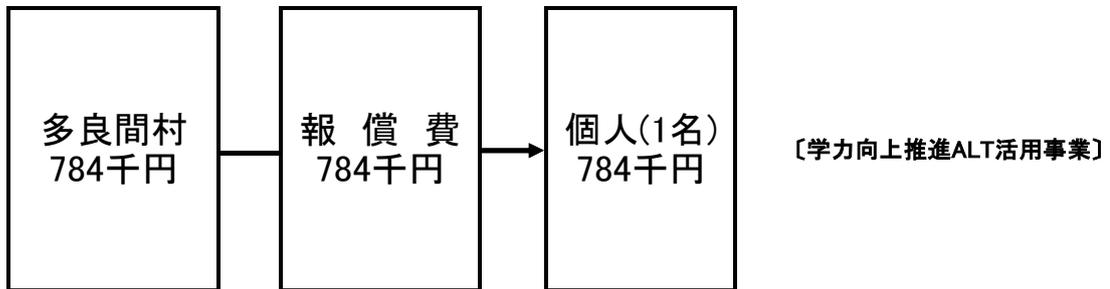
事業番号・事業名	3-②	学力向上推進ALT活用事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア			
担当部署名	多良間村教育委員会・教育課	事業実施(予定)年度	平成27～平成33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進		
事業内容	学校教育において、国際化社会に対応できる児童生徒の学力向上を図るため、ALTを招聘し国際感覚を養いながら児童生徒の英語力の向上を図る。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位：千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		27年度	28年度	29年度	30年度	28年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 繰越額 A. 計 (b+d)		394	788			
			394	788			
			0	0			
			-	-			
			394	788			
	B. 執行済額		394	784			
	うち交付金充当額		314	627			
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	99.5%			
予算の状況の説明		当初の計画通りで、想定内の予算執行状況であった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)	達成状況					
			28年度	29年度	30年度	31年度	
	外国語指導助手(ALT)招聘年間20回	目標	(20回の招聘)	()	()	()	
		実績	20回の招聘				
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	外国語指導助手(ALT)を年間20回招聘することにより、学校生活の様々な場面における交流や触れ合いの中で異文化に対する興味・関心を喚起し、理解を深めることにより、国際理解教育の充実を図り、国際感覚の醸成に寄与することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)	基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)	
	外国語指導助手(ALT)を招聘して児童生徒の英語力向上を図り、国際社会に対応できる人材を育成を図る。	目標	()	国際社会に対応できる人材の育成を図る	国際社会に対応できる人材の育成を図る	()	()
		実績		国際社会に対応できる人材の育成を図った	国際社会に対応できる人材の育成を図った		
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ●小学校:5・6年生を対象とした当事業は、英検5級を受験する児童がでるなど、予想以上に成果を得られ、充実したものとなった。 ●中学校:中学校全学年を対象としたこの事業により、英検の各級の合格率がアップし、期待通りの成果が得られた。 						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>●英語を学ぶ環境を整備することにより、離島の小中学生においても国際感覚を養いつつ、英語力の向上を図れるようにすることが必要。</p>	<p>●外国語指導助手(ALT)の効果的な活用方法の検証や、外国語指導助手(ALT)の資質向上に向けた研修会等の環境を構築することで、より一層事業効果の発現が促進されるのではないかと考える。</p>

今後の取り組み方針
<p>●引き続き、外国語指導助手(ALT)を活用して国際社会に対応できる国際感覚を養いながら児童生徒の学力の向上を図る。 ●外国語指導助手(ALT)の資質向上に向けた小中合同の研修会等を実施するとともに、研修内容の精査を併せて行うことで内容の充実を図ることとし、ALTの効果的な活用が可能な環境の構築に取り組む。</p>

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
784	784	627	157	0



資金の用途の 流れ、費目 の評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○外国語指導助手(ALT)は、調査及び考慮の上選定しており、
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	妥当であると考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○不用額はなく、適正な規模と考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途は予定通りで、目的に即した適正なものであった。

市町村名	多良間村						
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-③	幼稚園預かり保育事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3-3-(11)-イ	
担当部課名	多良間村教育委員会	教育課	事業実施(予定)年度	平成28年度～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 Ⅲ-3-1	
事業内容	幼稚園の教育課程修了後も引き続き健やかな成長を支援するため、保育教諭(保育士、支援員)を配置する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,344				
		(b) 予算現額	857				
		(c) 増減額(b-a)	▲ 487				
		(d) 繰越額	0				
		A. 計(b+d)	857				
	B. 執行済額		440				
	うち交付金充当額		352				
	次年度繰越額		0				
執行率(%) (B/A)		51.3%					
予算の状況の説明		当初は、4月から預かり保育事業を予定していたが、保育士確保が遅れたことで事業として6月スタートになったため、事業費として487千円を減額したほか、支援員の確保に時間を要したことから、417千円の減額が生じた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			28年度	29年度	30年度	31年度	
	幼稚園預かり保育教諭(保育士)の配置	目標	(配置)	()	()	()	
		実績	配置				
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	預かり保育教諭の確保ができ、6月スタートとなった。また、預かり保育の強化として、9月からは預かり保育支援員1名を雇用した。園児の安全に留意しながら園内だけでは味わえない貴重な経験ができ、園児の関心を広げるとともに社会性も育むことができている。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(年度)
	預かり保育を希望する園児の100%受け入れ	目標	()	(100%)	()	()	()
		実績		100%			
	【参考指標】 預かり保育園児数 クラス別人数	目標		24名 (さくら組11名) (ばら組13名)	()		
		実績		24名 (さくら組11名) (ばら組13名)			
進捗状況説明	幼稚園の教育課程修了後の園児24名の居場所づくり、安全確保や保護者の家庭支援につながっている。また、9月より支援員が1人増え、積極的に園外保育も実施できている。園外保育を通して、園児達の関心も広がっている。						

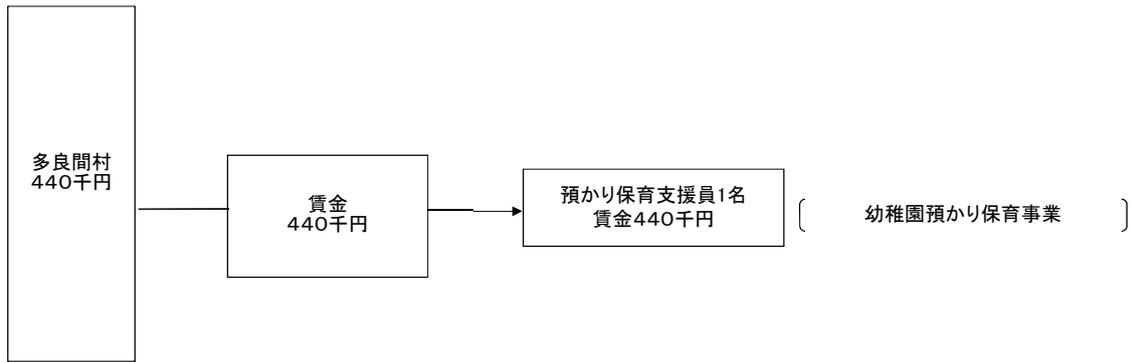
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>共働きの保護者が多く園児の面倒を見ることができない中、子ども達の安全確保・居場所づくり等家庭支援が必要であり、預かり保育事業をおこなった。預かり保育支援員と合わせて2人体制にすることにより、子どもたちが園外で体験する等の活動の幅が増え、健やかな成長や社会性が芽生える機会となっている。子どもたちが、よりよい教育環境の中で成長していくためには、預かり保育が必要である。</p> <p>離島であるため特別な資格を要する職等について、速やかな確保を行うことは困難な場合があることから、人材確保に引き続き留意する必要がある。</p>	<p>子どもたちの健やかな成長を支援するためには、子どもの成長過程に沿った支援が途切れなく継続的に行えるように、支援体制の強化が必要である。特別な資格が必要な人材の情報について情報収集の機会を捉えて把握することで、速やかな人材確保に繋がる可能性がある。</p>

今後の取り組み方針

当村の実情を踏まえて、預かり保育の強化として支援員をさらに雇用し、園児の健やかな成長と保護者が安心して仕事ができる教育環境の整備をつづける。特別な資格を要する職を募集するような事業を実施するにあたっては、人材の確保に向けて常々情報収集に努めていくことで、円滑な事業実施へ繋げていくよう努める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
440	440	352	88	0



資金の 使途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定方法は妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○人材確保に遅れが生じ不用が発生したものの、当初の事業内容に見合った規模の予算であったことから、予算規模は当初の事業計画に相応し、適正な規模であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、生産段階で検査をしており、目的に即した必要なものと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	多良間村
------	------

平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-④	村営学習塾開設事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ			
担当部署名	多良間村教育委員会・教育課	事業実施(予定)年度	平成27～平成33年度	沖縄振興基本方針該当箇所			
事業内容	学力向上、高校受験対策の一環として生徒の学習をきめ細かに支援するため、村営学習塾を開設する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	16,362				
		(b)予算現額	16,362				
		(c)増減額(b-a)	0				
		(d)繰越額					
		A.計(b+d)	16,362				
	B.執行済額		15,012				
	うち交付金充当額		12,009				
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		91.7%				
予算の状況の説明		当初の計画通りで、想定内の予算執行状況であった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			28年度	29年度	30年度	31年度	
	村営学習塾の開設	目標	(開 設)	()	()	()	
		実績	開 設				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	村営学習塾を開設し、学びたいと希望を持つ児童生徒を受け入れることができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(年度)
	高等学校入学者選抜学力検査全員合格	目標	()	(受験生全員合格)	()	()	()
		実績		受験生全員合格			
	全国平均との格差縮小	目標	()	(格差縮小)	()	()	()
		実績		格差縮小			
	進捗状況説明	村営の学習塾を開設することにより、学力向上、高校受験対策の一環として生徒の学習をきめ細かな支援ができ、平成29年4月実施の全国学力・学習状況調査の結果、小学校については、28年度は全国平均を3.8ポイント下回っていたが、29年度は3.3ポイント上回った。中学校についても、28年度は5.2ポイント下回っていたが、29年度は2.1ポイント差まで縮まった。このように、全国平均との格差が縮小したほか、高等学校入学者選抜学力検査で全員合格と充実したものとなった。					

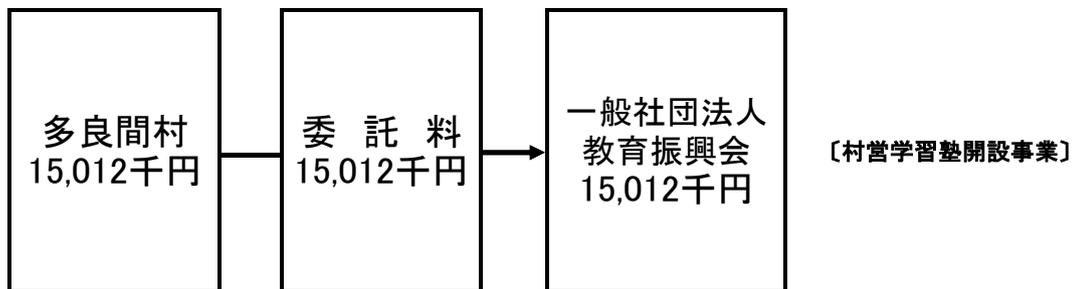
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	全ての児童生徒の個々の学習ニーズに可能な限り応えられる学習の場・環境を整備した上で、今後は、より一層児童生徒の学習塾への積極的な参加・出席を促すべく、家庭、学校、行政が呼びかける必要があると考える。	学ぶことの楽しさや学習意欲・向上心を身に付けさせるためには何が必要か、子どものやる気を起こさせるためには何が必要か、などの家庭での学習を推進していくにあたっての課題を明確にするとともに、そうした課題に向き合う父母への支援を行うことで、家庭学習を支援できる環境を構築し、児童への声かけなども促すことで、児童らの自発的・積極的な学習塾への参加・出席を促すことが可能となるのではないかと考えられる。

今後の取り組み方針

小中に学習支援員を配置し学力向上対策を行うと同時に、学校教育活動終了後、学習支援員が家庭学習支援を行うことで、学ぶことの楽しさを実感させることで、児童に学習意欲・向上心などを身に付けさせるよう取り組むほか、児童の家庭学習の推進に向けて何が必要か悩んでいる父母を対象とした「父母セミナー」を定期的に開催する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
15,012	15,012	12,009	3,003	0



資金の 使途の 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は、指名競争入札により選定しており妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	○不用額がなく、予算規模は適正な規模と考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者との負担関係は発生しない。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○四半期払いの度に検査を行い、目的に即し、必要なものだと判断する。

市町村名		多良間村						
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-⑤	歴史・伝統文化継承事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3-3-(11)-イ			
担当部課名	多良間村教育委員会	教育課	事業実施(予定)年度	平成28年度	教育環境充実事業			
				沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)			
事業内容	多良間村の方言文化の継承保存のため、方言辞典を作成する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	2,019					
		(b)予算現額	2,996					
		(c)増減額(b-a)	977					
		(d)繰越額	-					
		A.計(b+d)	2,996					
	B.執行済額		2,996					
	うち交付金充当額		2,396					
	次年度繰越額		0					
	執行率(%) (B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		制作物判型(四六判からA5判)の変更、説明語彙、例文の追加、文字数の変更による用紙費用の追加が生じたものの、年度途中で予算を増額することで、順調に事業を執行することができた。						
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況					
			28年度	29年度	30年度	31年度		
	方言辞典の作成、音声録音保存	目標	(実施)	()	()	()		
		実績	実施					
		目標	()	()	()	()		
		実績						
達成状況説明	“つかえる”多良間ふつ辞典作成を目指し、多良間島独特の民俗語彙、生活・信仰・伝統的な道具・遊び・行事における語彙(全部で約3,800語)や身近な出来事・民話などを例文とし、意味においても単純な理解語彙だけでなく、形状や様式といった細かい説明を掲載した。 さらには、児童生徒や年配の読者にも配慮するために、漢字を平仮名にひらいたり、ルビをつけたり文字を大きくしたりした。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(年度)	
	「しまくとぅば」の保存継承、会話を「しまくとぅば」できるようにし、各郷友会へも普及する。	目標	()	(普及する)	()	()	()	
		実績		普及した				
		目標			()			
		実績						
	進捗状況説明	村内各戸、関東・関西・沖縄本島・宮古・石垣の郷友会へも配布することができ普及が図られた。方言は、多良間島特有の歴史・文化・自然・生活様式などを知る素材として重要な言葉である。方言辞典を活用し方言を通して、郷土に誇りと愛情を持てる教育を行い人材育成に繋げる。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	方言は、地域固有の文化であり「しまくとぅば」の保存継承が必要である。「しまくとぅば」を話す、聞くことができる人が少なくなっており、絶滅するおそれがある。「しまくとぅば」の発音、意味、文字、使い方を残すことで次代へ保存継承と地域の人材育成に繋がる。	方言辞典を用いて生涯学習をすることで、郷土に誇りと愛情をもてる人材を育成する。 関東・関西・沖縄・宮古・石垣の郷友会や村内全戸に配布することで、方言辞典を活用して子どもから大人まで方言を学ぶ資料となり、活用することで郷土に誇りと愛情をもてる人材育成に繋がる。
今後の取り組み方針		
総合学習や方言教室で活用しながら、「しまくとぅば」の保存継承につなげるとともに、副読本の作成など、より身近な題材への活用を検討することで、方言辞典の活用を図るとともに、生涯学習につなげることで、郷土に誇りと愛情をもてる人材の育成を推進する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	2,996	2,996	2,396	600	0
<pre> graph LR A[多良間村 2,996千円] --> B[委託料 2,996千円] B --> C[沖縄時事出版 2,996千円] </pre> <p>【「しまくとぅば」保存継承業務委託】 ①方言辞典編集作成 ②音声録音保存</p>					
資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明		
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。		
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算額も事業内容に見合った執行となっており、適正な規模であった。		
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。			
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。		

市町村名	多良間村					
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	4-①	多良間村自動車航送コスト負担軽減事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-ア		
担当部署名	総務財政課	事業実施(予定)年度 平成27~33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	交通・生活コストの低減		
事業内容	離島住民の利便性を確保するため、高額である多良間島⇄宮古島間のフェリー自動車航送に係る運賃補助を実施する。					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	(a) 当初予算額	2,986	1,574			
	(b) 予算現額	986	1,079			
	(c) 増減額(b-a)	▲ 2,000	▲ 495			
	(d) 繰越額	0	0			
	A. 計(b+d)	986	1,079			
	B. 執行済額	389	932			
	うち交付金充当額	311	745			
	次年度繰越額	0	0			
	執行率(%) (B/A)	39.5%	86.4%			
予算の状況の説明	実績を踏まえて、当初予算を計上したが10月末時点で利用実績が昨年度を下回っており、3月末までに利用増が見込まれないため補助金を495千円減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)	達成状況				
		27年度	28年度	29年度	30年度	
	宮古島⇄多良間島間の自動車航送コスト負担の軽減	目標 (軽減)	(軽減)	()	()	
		実績 軽減	軽減			
		目標 ()	()	()	()	
		実績				
達成状況説明	117台分の予算を確保したが69台の自動車航送運賃にとどまった。 4月5台(65,100円) 5月11台(143,220円) 6月7台(94,870円) 7月7台(94,870円) 8月6台(85,580円) 9月4台(55,810円) 10月3台(39,060円) 11月6台(81,850円) 12月6台(81,850円) 平成29年1月2台(26,040円) 2月7台(94,870円) 3月5台(68,830円)の軽減が図られた。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)	基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
	自動車航送コスト負担軽減による、定住環境の改善	目標 ()	(定住環境の改善)	(定住環境の改善)	()	()
		実績	定住環境の改善	定住環境の改善		
	【参考指標】	目標 ()	()	()	()	()
		実績				
	進捗状況説明	目標台数117台の設定をしたが69台の自動車航送運賃にとどまったものの、自動車航送コスト負担軽減事業で、宮古島での移動手段の確保に繋がりが、日常生活を含め教育や医療等で宮古島に出かける頻度の多い、村民の負担軽減が図られ定住環境の改善に資することができた。 平成29年度も広報等周知活動を強化したい。				

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	今後経済的負担を軽減するため、法人事業者まで拡大するか検討していく必要がある。また、宮古島市での、交通手段確保のための事業となっているため車検整備のための自動車航送について今後どうするか検討を要する。	宮古島市での、交通手段確保と住民の負担軽減のための事業となっている。利用者には船に弱い利用者もいるため、利用者が乗船する条件の要綱の検討が必要。
今後の取り組み方針		
自動車航送コスト負担軽減事業を事業者まで拡大することや、車検整備のための輸送も補助対象とすることを検討し、必要に応じて利用条件を緩和することで、船舶利用者の利便性の向上と村民負担の軽減に引き続き取り組んでいく。		

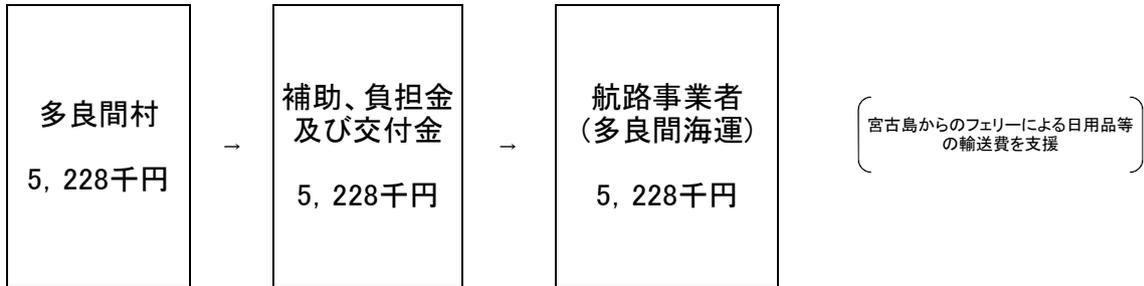
資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)											
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>総事業費</th> <th>交付対象事業費</th> <th>交付金充当額</th> <th>市町村負担金</th> <th>交付対象外経費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">932</td> <td style="text-align: center;">932</td> <td style="text-align: center;">745</td> <td style="text-align: center;">187</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> </tbody> </table>		総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	932	932	745	187	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費							
932	932	745	187	0							
<pre> graph LR A[多良間村 932千円] --> B[補助、負担金 及び交付金 932千円] B --> C[航路事業者 (多良間海運) 932千円] subgraph D [フェリー車両航送に係る運賃の一部支援] C end </pre>											
資金の流れ、費目・点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明								
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・支出先については、航路事業者が1事業者しかいないため妥当である。								
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・実績の状況に応じ年度内で減額を行うなど、事業内容に見合った予算規模となっている。								
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	・利用者も一定の負担をしており、受益者との負担関係は妥当である。								
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・費目・使途については実績報告時において支出等に関する書類により確認し、適正であった。								

市町村名	多良間村							
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4-②	離島食品・日用品輸送費等支援実証事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3-3-(11)-ア		
担当部課名	総務財政課	事業実施(予定)年度	平成28～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	交通・生活コストの低減 Ⅲ-9		
事業内容	離島における割高な生活コストの低減を図るため、沖縄本島及び宮古島から多良間島へ輸送される食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援を実施する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 繰越額 A. 計 (b+d)		7,247					
			5,933					
			▲ 1,314					
			—					
			5,933					
	B. 執行済額		5,228					
	うち交付金充当額		4,182					
	次年度繰越額							
	執行率 (%) (B/A)		88.1%					
予算の状況の説明		7月から登録店舗数が徐々に増加したが、事業開始後の実績額は、当初見込んでいた額を下回る状況となったため。12月補正で6,426千円に減額し、さらに2月補正で5,933千円に減額した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況					
			28年度	29年度	30年度	31年度		
	食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援	目標	日用品等の輸送(経費及び作業経費)の支援	()	()	()	()	
		実績	日用品等の輸送経費及び作業経費の支援					
			目標	()	()	()	()	
			実績					
達成状況説明	平成28年7月～平成29年3月で支援を行った。実績額は以下の通り。 H28.9.28(544,026円) H28.10.20(648,857円) H28.11.8(525,068円) H28.12.22(632,036円) H29.1.17(591,871円) H29.2.17(852,466円) H29.3.9(509,742円) H29.3.27(609,597円) H29.3.31(314,157円)							
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(年度)	
	沖縄本島と離島の生活必需品等の価格差(沖縄本島を100とした場合の指数)の縮小 H27指数 127.2	目標	()	沖縄本島との価格差の縮小	()	()	()	()
		実績		沖縄本島との価格差の縮小				
	【参考指標】		目標	()	()	()	()	()
			実績					
	進捗状況説明	宮古島から多良間島へ輸送される、食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援により生活コストの低減を図った結果、沖縄本島と離島の生活必需品等の価格差(沖縄本島を100とした場合の指数)の縮小がなされた。 H27指数 127.2(事業開始前) H28指数 121.7(事業開始後)						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>多良間村に対象店舗は7店舗あるが、登録店舗は4店舗である。 平成28年度離島食品・日用品輸送費等補助事業検討委員会によると、登録事業者の割合が高い島において価格差の低減効果が大きい傾向となっている。</p>	<p>事業効果の向上に向けて、未登録店舗へ登録の協力依頼や登録事業者へは値下げ方法についての事例提供など、より一層の取り組みが必要になる。</p>
今後の取り組み方針		
<p>本事業によって価格差の低減効果の大きい離島を参考に、値下げする商品や値下げ方法を改めて考察し、登録事業者へ情報提供すると共に、未登録店舗への参加呼びかけを行っていく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
5,228	5,228	4,182	1,046	0



資金の流れ、費目、使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○航路事業者が1事業者しかいないため支援対象として妥当である。
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	○県と協調して助成するため総事業費の50%が村の事業費となるが、実績に応じて予算を縮小するなどの対応をしている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者との負担関係は発生しない。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○実績報告時において支出等に関する書類により確認しており適正であった。

市町村名	多良間村						
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-①	防風林及びほ場境止壁設置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(4)-ウ-(イ)	
担当部署名	多良間村土木建設課	事業実施(予定)年度	平成28～31年度		沖縄振興基本方針該当箇所	農林水産業の振興 Ⅲ-1-(6)	
事業内容	当地区の防風林は団体営ほ場整備事業で整備されたが、ほ場及び防風林の境界がないため、大型機械等が防風林帯に浸食し、生育阻害要因となっている。止壁を設置することにより防風林を保護し、台風や塩害から農作物を守り、品質向上を図る。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 繰越額 A. 計 (b+d)		5,000				
			5,000				
			0				
			—				
			5,000				
	B. 執行済額		4,806				
	うち交付金充当額		3,844				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		96.1%				
予算の状況の説明		不用額は5%以内となっており、概ね計画通り執行済みである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)	達成状況					
			28年度	29年度	30年度	31年度	
	実施設計の作成	目標	(実施設計の作成)	()	()	()	
		実績	実施設計の作成				
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	今年度は、委託業務で全地区の調査と測量設計を行い、平成29年度より工事に着手する予定であった。しかし、一部の農家の区域について、サトウキビ収穫との兼ね合いから28年度の事業対象から除外することとなったため、委託業務の対象を一部変更し総延長として1,178mの実施設計作成を完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(年度)
	実施設計の作成完了	目標	()	(実施設計の作成完了)	()	()	()
		実績		実施設計の作成完了			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	今年度事業の対象とした部分について実施設計を完了することができた。29年度においては、28年度で完了した実施設計に基づき、工事を行っていく。						

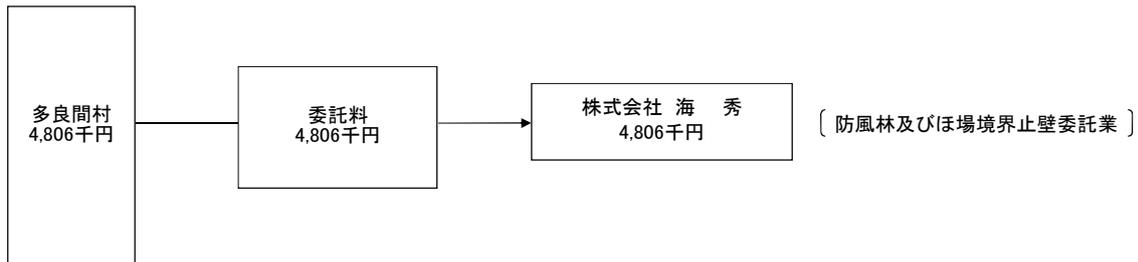
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	当該農家に測量に入る前に個別訪問を行い、さとうきびの作付け調整を行ったが、夏植えのさとうきびを収穫したため事業実施を後年度としてほしいとの意向が一部の農家にあったため、一部農家の区域については調整が行えなかった。	全体整備の実施に向けて、再度、一部農家へ業務の周知を行うことで、早急な対応を可能とし、29年度以降に追加工事を予定する部分に係る業務を早期発注できるように、環境を整える必要がある。

今後の取り組み方針

28年度において対象としなかった農家の区域について、各農家と作付け調整を早期に行うことにより、当該区域での事業実施の同意取り付けを早めに行えるようにすることで委託業務の早期発注に繋げる。
併せて各農家との作付け調整等を円滑に実施し、サトウキビ等の植付け及び収穫に影響がないように配慮しつつ、平成31年度までに全地区で工事が完了できるように取組を進めていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
4,806	4,806	3,844	962	0



資金の用途の流れ、費目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の5%以内であり適当な規模であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・用途については、精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断した。

市町村名	多良間村
------	------

平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	7-①	多良間村公共施設等エコ推進事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(3)-ア
----------	-----	-----------------	--------------------	-------------

担当部署	総務財政課	事業実施(予定)年度	平成28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	地球温暖化防止対策の推進 Ⅲ-3-(3)
------	-------	------------	--------	--------------	-------------------------

事業内容
CO2削減のためエコアクションプログラムの作成と、公共施設及びそんな以外等の照明機器等の省エネルギー化のためLEDへ照明切り替えるなど、観光客及び村民の安全確保と防犯の充実を図る。

実施方法
直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a) 当初予算額	2,230				
	(b) 予算現額	1,836				
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 394				
	(d) 繰越額	0				
	A. 計 (b+d)	1,836				
	B. 執行済額	1,836				
	うち交付金充当額	1,468				
	次年度繰越額	0				
	執行率 (%) (B/A)	100.0%				
	予算の状況の説明	年度途中で、入札残の394千円について減額を行った。				

活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)	達成状況			
		28年度	29年度	30年度	31年度
エコアクションプログラムの策定	目標 (エコアクションプログラムの策定)	()	()	()	()
	実績	エコアクションプログラムの策定			
	目標 ()	()	()	()	()
	実績				
達成状況説明	CO2削減のためエコアクションプログラムの作成と、公共施設及び村内街灯の照明機器等の省エネルギー化のためLEDへ照明を切り替えるなど、観光客及び村民の安全確保と防犯の充実を図るための、多良間村公共施設等エコ推進事業計画書の策定に取り組んだ。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)	基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(年度)
		エコアクションプログラムの策定完了	()	エコアクションプログラムの策定	()	()
	【参考指標】	()	エコアクションプログラムの策定	()	()	()
	実績					

進捗状況説明
CO2削減のためエコアクションプログラムの作成と、公共施設及び村内街灯などの照明機器等を省エネルギー化のためLEDへ照明を切り替えるなど、観光客及び村民の安全確保と防犯の充実を図るための、多良間村公共施設等エコ推進事業計画に基づく施策の実施による多良間村全体の省エネ・省CO2に繋げるための計画の策定を完了した。
多良間村公共施設等エコ推進事業計画書20部、多良間村公共施設等エコ推進事業計画概要版50部を作成した。

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	多良間村公共施設等エコ推進事業を推進していくため、村民や各主体が本事業の内容を理解するとともに、日常生活や事業活動の中に取り組んで行けるように周知する必要がある。	多良間村公共施設等エコ推進事業計画に基づく施策を実施し、省エネ・省CO2の進行状況や、社会情勢の変化を踏まえながら、必要に応じ照具体的な取組や施策の見直しを行う。
今後の取り組み方針		
多良間村公共施設等エコ推進事業計画に基づき、H29年度以降公共施設や街灯のLED照明機器への切り替えや、ゴミ減量・資源化循環型社会の形成のような取り組みを検討し、施策の実施による省エネ・省CO2の実現に努めていく。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,836	1,836	1,468	368	0

```

graph LR
    A[多良間村  
1,836千円] --> B[委託料  
1,836千円]
    B --> C[株式会社  
(イーエーシー)  
1,836千円]
    subgraph D [公共施設等エコ推進計画書  
作成委託業務]
        B
        C
    end
  
```

資金の 用途の 流れ、 点検 評価 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算額も事業内容に見合った執行となっており、適正な規模であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即した必要なものであったと判断した。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	